

提案フォームの記入要領

- ・ 提案フォームは、リッチテキスト形式(*.RTF)で作成し、和英数字・記号のみの記述として下さい。提案フォームには、新たに罫線を加えたり、図形画像を貼り付けるなど、和英数字・記号以外の記載はしないで下さい。
- ・ たりしないで下さい。
- ・ 提案フォームは、A4 版 (縦) で印刷した場合に、一般的なプリンターで2ページ以内に収まるようにしてください。
- ・ 提案フォームに記述する内容を写真や図表により説明する必要がある場合は、提案フォームの文中に注釈を付け、メールの送信時に JPEG 形式のファイル (ファイルの名称は注釈と同一、最大2ファイル、合計400kB以内) として添付してください。
- ・ 提案する技術に関するパンフレットや単価表などは、ご提案の必要に応じて、提案フォームを応募するメールの送信時に、PDF形式のファイル (ファイルの名称は注釈と同一、最大3ファイル、合計600kB以内) で添付することができます。

振番	項目の名称	記入方法
①	会社・機関名	ご提案の技術を保有する会社・機関、法人の名称を記入してください。
②	担当部署	①で記入する会社・機関において、ご提案の技術に関する詳細な照会に、適切に対応できる部署を記入してください。
③	所在地	②で記入する担当部署の所在地を、都道府県から記入してください。
④	会社 URL	①で記入する会社・機関が、インターネットにホームページを有している場合は、そのホームページのアドレスを記入してください。
⑤	担当者	②で記入する部署において、ご提案の技術に関する詳細な照会に、適切に対応できる方のお名前を記入してください。2名まで登録が可能です。
⑥	電話番号	⑤で記入する方と円滑に連絡がとることが可能な電話番号を、市外局番から記入してください。
⑦	e-mail	⑤で記入する方と円滑に連絡がとることが可能な、インターネットのメールアドレスを記入してください。
⑧	技術名称	ご提案の技術の固有名称 (製品名、工法名、等) を記入してください。
	(副題)	ご提案の技術の用途を簡潔に表す表現やキャッチフレーズがあれば、記入してください。
⑨	技術の概要	・ ご提案の技術について、特徴や適用方法などの概要を、文章で記述してください。400文字以内を目安として下さい。 ・ ご提案の技術を写真や図表により説明する必要がある場合は、本欄の文中に注釈を付け、メールの送信時に JPEG 形式のファイル (ファイルの名称は注釈と同一、最大2ファイル、合計400kB以内) として添付してください。 ・ ご提案の技術を紹介するパンフレット等により本欄を補足する場合は、⑰「備考」欄にパンフレット等を別添とする旨を明記し、メールの送信時にPDF形式のファイル (ファイルの名称は注釈と同一、最大3ファイル、合計600kB以内) で添付してください。
⑩	技術の適用条件、留意点	ご提案の技術について、適用や使用に当たり特に注意する点や留意点 (効果が発揮できない条件、劣化が進みやすい条件、適用範囲、等) を記入してください。100文字以内を目安として下さい。
⑪	今後の課題、技術開発の計画	ご提案の技術について、今後の課題、技術開発の計画、改善されることが望ましい目標がある場合など、さらなる技術開発の必要性や今後の発展に期待する面などの状況を記入してください。100文字以内を目安として下さい。

振番	項目の名称	記入方法								
⑫	技術の保証	ご提案の技術について、 ・ 国、地方公共団体が規定する基準に適合していると保証される場合 ・ 日本工業規格やISOに基づく規格に適合している場合 ・ 非営利団体や業界団体が規定する自主基準に適合していると保証される場合は、基準・規格に適合することを保証する内容(基準・規格の名称、保証機関、登録番号、等)を記入してください。その他、ご提案の技術を保証するものがあれば、必要に応じて100文字以内を目安に記入してください。								
⑬	採用実績	ご提案の技術が実際に適用された実績がある場合は、代表的な実績を5件以内の箇条書きで、適用箇所(採用者)、工事件名、実施時期などの実績を記載してください。これに加えて、実績の合計件数を記入しても構いません。								
⑭	知的財産	ご提案の技術について、国に登録している特許権、実用新案権、意匠権その他の知的財産があれば、これらを登録番号とともに記載してください。								
⑮	単価	・ ご提案の技術について、標準的な規模や条件で適用した場合の単価を記入してください。単価の記入に当たっては、必要に応じて適用条件や補足事項を記入してください。この場合、100文字以内を目安として下さい。 ・ 詳細な単価を示す場合は、PDF形式のファイルによる別添とし、⑰「備考」欄に別添とする旨を明記して下さい。								
⑯	技術の評価	ご提案の技術を高速道路に適用した場合に得られる効果・影響の評価について、「安全性能」、「環境性能」、「経済性」、「機能性」の観点で、次に示す条件により記入してください。 ・ 定量的評価ができる場合は、数値(単位)で記入。 ・ 定量的評価ができない場合は、増減の傾向とともに理由を記述。 ・ 該当する効果がない場合は無記入。 また、これらの観点到該当しないものの、特筆すべき効果・影響があれば、「その他特記事項」欄に50文字以内を目安に記入してください。 なお、「安全性能」、「環境性能」、「経済性」、「機能性」の観点に基づく効果・影響の評価は、下表に示す範囲とします。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>安全性能</td><td>・ 交通事故対策、高速道路及び付属施設の老朽化対策、災害対策など、安全の確保に関する効果・影響の全般。</td></tr> <tr> <td>環境性能</td><td>・ 渋滞の解消・改善、廃棄物の削減、大気・水環境の保全、温室効果ガスの削減など、生活環境の保全及び地球環境の保全に関する効果・影響の全般。</td></tr> <tr> <td>経済性</td><td> ・ 物流の効率化、教育・技術水準の向上など、外部経済効果の全般。ただし、安全性能・環境性能に起因するものを除きます。 ・ 調達費用の削減、設計・施工の省力化、ライフサイクルコストの低減など、高速道路の建設・管理コストの削減に関する効果・影響の全般。 </td></tr> <tr> <td>機能性</td><td>・ 見映えの良さ、清掃・洗浄の利便性、景観との調和など、形状・性状の作用による効果・影響の全般。ただし、安全性能・環境性能・経済性に属するものを除きます。</td></tr> </tbody> </table>	安全性能	・ 交通事故対策、高速道路及び付属施設の老朽化対策、災害対策など、安全の確保に関する効果・影響の全般。	環境性能	・ 渋滞の解消・改善、廃棄物の削減、大気・水環境の保全、温室効果ガスの削減など、生活環境の保全及び地球環境の保全に関する効果・影響の全般。	経済性	・ 物流の効率化、教育・技術水準の向上など、外部経済効果の全般。ただし、安全性能・環境性能に起因するものを除きます。 ・ 調達費用の削減、設計・施工の省力化、ライフサイクルコストの低減など、高速道路の建設・管理コストの削減に関する効果・影響の全般。	機能性	・ 見映えの良さ、清掃・洗浄の利便性、景観との調和など、形状・性状の作用による効果・影響の全般。ただし、安全性能・環境性能・経済性に属するものを除きます。
安全性能	・ 交通事故対策、高速道路及び付属施設の老朽化対策、災害対策など、安全の確保に関する効果・影響の全般。									
環境性能	・ 渋滞の解消・改善、廃棄物の削減、大気・水環境の保全、温室効果ガスの削減など、生活環境の保全及び地球環境の保全に関する効果・影響の全般。									
経済性	・ 物流の効率化、教育・技術水準の向上など、外部経済効果の全般。ただし、安全性能・環境性能に起因するものを除きます。 ・ 調達費用の削減、設計・施工の省力化、ライフサイクルコストの低減など、高速道路の建設・管理コストの削減に関する効果・影響の全般。									
機能性	・ 見映えの良さ、清掃・洗浄の利便性、景観との調和など、形状・性状の作用による効果・影響の全般。ただし、安全性能・環境性能・経済性に属するものを除きます。									
⑰	備考	・ パンフレット、単価表などは、提案フォームとは別にファイルとして添付することができます。この場合、本欄に添付するファイルの内容とその名称を注記してください。 (例)・技術の詳細については、別添のパンフレット(pamphlet1.pdf)を参照して下さい。 ・ 単価の詳細については、別添の単価表(price.pdf)を参照して下さい。 ・ リースの詳細については、別添のリーフレット(pamphlet2.pdf)を参照して下さい。 ・ パンフレット、単価表などのファイルの名称は、注記と同一とし、最大3ファイル、合計600kB以内として下さい。 ・ その他①～⑯に記入できなかったことについて、必要に応じて記載しても構いません。この場合、200文字以内として下さい。								

高速道路の建設・管理に関する新技術等のご提案

会社・機関／連絡先	会社・機関名 ①	〇〇〇〇株式会社			
	担当部署 ②	〇〇部〇〇課			
	所在地 ③	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇ー〇 〇ビル〇階			
	会社 URL ④	http://www.xxxxx.xx/			
	担当者 ⑤ (2名まで登録可)	フリガナ 担当者①	マルマルタロウ 〇〇太郎	フリガナ 担当者②	マルマルハナコ 〇〇花子
	電話番号 ⑥	XXX-XXX-XXXX			
	e-mail ⑦	XXXX@XXXX.XX			
技術名称 (副題) ⑧	X X パワー 9 9 人と地球にやさしい X X X 装置				
技術の概要 (特徴、適用方法、等) ⑨	XXXXXは、XXXXの開発技術から生まれた、画期的なXXXXです。XXの損失を限りなくゼロに近づけることで、XXXを約5～15%も向上させることが可能となりました。XXXを向上させる方法は様々ですが、最もXXXな方法は、XXを削減させることです。XXXXXは、XXにXXするだけでXXを削減できるだけでなく、XXの変動を安定させることにより、XXの変化を抑制し、XXの寿命をより長くします。				
技術の適用条件、 留意点 ⑩	適用前にXXの構成、過去のXX使用量、XX値などのデータに基づき、「XXシミュレーション」を作成し提示いたします。その時点でXXの効果が低いということであれば、無理に適用をおすすめするようなことはありません。				
今後の課題、 技術開発の計画 ⑪	X X の構成によっては、器具の設置に係る費用が、通常の点検・管理費用の節減額を上回る場合があります、機器のコスト削減が今後の課題です。				
技術の保証 ⑫	① X X 処理装置 X X 協会 適合確認届出書受理 (受理番号: XXXXX) ② 財団法人 X X X X X X X X X 認証 (認証番号: XXXXXXXXX) ③ JIS XXXXXXX 〇〇の試験				
採用実績 ⑬	機関名 国、地方公共団体 〇〇高速道路(株) 〇〇〇〇鉄道(株) 〇〇〇〇産業(株) (株) 〇〇製作所 (株) 〇〇〇工業 他	採用箇所(工事等名称、所在地) 〇〇省〇〇 (XXXXX)、〇〇県〇〇所、他 〇〇道、〇〇道、他 〇〇線〇〇駅 〇〇センター 〇〇工場 中央研究所 (〇〇件 - 〇年〇月〇日現在)			
知的財産 (特許、実用新案、等) ⑭	〇〇の〇〇 (特許登録番号 XXXXXXX) 〇〇〇装置 (特許登録番号 XXXXXXX) 〇〇〇切替装置の保護 X X (特許登録番号 XXXXXXX)				
単価 ⑮	〇〇用 XXXXXX 円/箇所より。 (リースの場合、節減可能な額の範囲で提供します。)				
技術の評価 ・定量的評価ができる場合は、数値(単位)で記入。 ・定量的評価ができない場合は、増減の傾向とともに理由を記述。 ・該当する効果がない場合は無記入。	評価項目	評 価			
	安全性能	〇〇の保護、〇〇対策に有効			
	環境性能	〇〇の平均〇〇効果 5～15% (実績に基づく。)			
	経済性	〇〇費用 5～15%節減、〇〇の寿命 1.5 倍 (XXX使用時)			
	機能性	〇〇の場合、〇〇が〇〇に低下することがあります。			
備考 ⑰	その他特記事項 ー				
備考	・ 技術の詳細は、別添のパンフレット (pamphlet1.pdf) を参照して下さい。 ・ 単価の詳細については、別添の単価表 (price.pdf) を参照して下さい。 ・ リースの詳細は、別添のリーフレット (pamphlet2.pdf) を参照して下さい。				